

ヤマハニュース

YAMAHA NEWS

6

1975 JUN. NO.144

特集  菅生オープン



新発売 ヤマハトライアルTY80

天気のよい日は
バイクに乗ろう

緑の風のキャンペーン・スタート!!

お客さまとおそろいで 夏休みは菅生へどうぞ

'75夏の菅生カレンダー

7月	5～12日	七夕まつり
	13日	SCCカートレース第4戦 SCCモトクロス第2戦
	19日	菅生キャンプ場オープン
	20日	MFJ全日本選手権ロードレース第6戦・菅生大会
8月	1～18日	菅生サマーカーニバル
	5日	安全フェスティバル
	11～15日	菅生写生大会
	17日	SCCカートレース第5戦 SCCトライアル第4戦
	18日	ビッグサマーコンサート
	24日	夏休みサヨナラカーニバル

'75菅生サマーカーニバル

ま夏の菅生の一大ページェント。
ロードレース、モトクロス、トライアル、カートレースの特別イベント。
熱気あふれるロック、フォークそして日本太鼓のひびき。
地元みちのくの人びとが出店するお祭横丁。
さらに充実した冒険ジャルダン
夏休みの子供たちにもりだくさんの催し物。
ご期待ください。



お得で便利なパックでどうぞ!

■らくらくパック

●ツーリングコース (7月1日～7月31日) (8月21日～10月31日)

バイク仲間にぴったりの1泊2日コース、ロードコース
走行、レーシングカート、モトバイク、ミニバイクのプ
レイ付

●スポーツコース (期間同上)

ゆったりとプレイを……という方に。冒険ジャルダン、
アーチェリー、ゴーカート、ランドカーのプレイ付、1
泊2日コース。

※期間中でも土曜日のお泊りはご遠慮ください。

●らくらくパックキャンプ泊

上記コースのプレイ付でキャンプ泊コース

●日帰りコース

お2人様、昼食、プレイ付。

■母と子の自然教室(7月20日～8月31日)

1泊2日、親子2人コース

■キャンプチャレンジ合宿(期間同上)

小・中学生1人、3泊4日コース

※菅生のモータースポーツに参加されるライダー、メカ
ニック、オフィシャルおよびスポーツ走行のお客さまは
ライダーズスペシャルパックをご利用ください。



菅生
SUGO

ヤマハ発動機株式会社
宮城県栗田郡村田町大字菅生字塚石6-1
PHONE 022483-3111(代) 989-14

大きな自然
のびのび菅生
スポーツごころの
大きなふれあい

緑の風のキャンペーン

実施期間

6月1日～7月31日



夏休みを目前にひかえた六、七月は、バイクがもつとも売れるシーズン。この売れるシーズンに、みなさまのバックアップをする販売促進企画が六月からはじまった「緑の風のキャンペーン」です。

さわやかな緑と風をテーマにしたこのキャンペーンのアイ・キヤッチは「あなたとバイクの木陰」。店頭を美しく飾り、涼風感を与えて、お客さまの目と足をとらえるこのキャンペーンにぜひお店もご参加ください。夏の話題は、お客さまとバイクに木陰を与えるあなたのお店からはじまります。

次ページにつづく



夏のヤマハフレンド店

緑の風のキャンペーン

YAMAHA



ヤマハバイクの木陰

お店を緑の木陰に

店頭をさわやかに飾るPOPとして――

- キャンペーン用のぼり
 - 風鈴つき緑のすだれ
 - キャンペーン用ポスター
 - さまざまなポスター
 - 催事告知ウインドステッカー
- 等々があります。

風鈴の音が店頭にながれ、緑を基調にしたPOPがお店をさわやかに印象づける「緑の風のキャンペーン」は、プレゼントとプレミアムセールがその中心。そしてより多くのお客さまのベースとしてお店を鮮烈にアピールさせることにあります。

あなたのお店を「緑の木陰」として、お客さまが気軽にお立ち寄りできるように、楽しい話題づくりにも気を配りましょう。

緑のうちわプレゼント

いま流行のなぞなぞをとらえたポスターも話題づくりの一つ。そしてもう一つ大きな話題をつくるのが「緑のうちわプレゼント」。ご来店のお客さまにあるいは訪問の時に緑のうちわを差上げ、お店のPRを図ってください。

こうした話題づくりと共に、各種の役立つ催事を通じて新しいお客さまをつくりだしましょう。

- 緑のうちわプレゼントキャンペーンチラシ
- オートバイDM
- モトバイクDM

を有効に活用して「緑の風のキャンペーン」を徹底させましょう。

DMの送付は顧客名簿のほか、商店街名簿やPTA名簿、電話帳などを活用して、的を絞った方法をとることも効果的です。またDMには紹介者カードを挿入して、お客さまか

ヤマハ原付免許教室
申し込み受付中

がんばる僕は大きく見える!!
ヤマハモトバイク
新発売

いま、モトバイク、お買上げの方に
木陰Tシャツ
南部風鈴
プレゼント



緑の風のキャンペーン

GT50・80、TY50・80、モトバイク
お買上げのお客さまに
涼しさとオシャレを着る

ヤマハメイト、ヤマハチャビイ
お買上げのお客さまに
チロリンとさわやか

木陰Tシャツ 南部風鈴

緑のうちわプレゼント

ヤマハ安全点検サービス
実施中

らお客さまの紹介をいただきましょう。

●紹介者カード

●キャンペーン用封筒

も用意してあります。

陽気のよい時季、バイクの目立ついまこそ
商圏拡大の絶好機です。

ヤマハオリジナル南部風鈴 若いセンスの木陰Tシャツ

「緑の風のキャンペーン」期間は六月一日
から七月三十一日までの二カ月間です。この
期間にバイクをお買上げのお客さまには――

●ヤマハオリジナル南部風鈴 または

●木陰Tシャツ

がプレミアムとしてついています。

南部鉄の独特のすばらしい音色をもった風

鈴は日本の夏を涼しく演出する風物詩。また

木陰シャツは綿100パーセント（オンワ

ード製）の優良品で若さを強調します。

●緑のうちわプレゼント

●南部風鈴／木陰Tシャツプレゼント

●ヤマハモトバイク新発売

●ヤマハ原付免許教室

●ヤマハ安全点検サービス のウインドス

テッカーも多に活用して、このキャンペー

ンを実りあるものとしてください。

生オープン

るのが冒険ジャルダンであり、幼児も共に楽しめるミニジャルダンのアスレチック施設です。木材を主体とし、楽しくユニークな各種のアスレチック施設は、大人にとっては童心をよみがえらせ、子供にとっては大きな夢を育くむまったく新しい「遊び場」です。スポーツ・レジャーを創造する『菅生』の一面がこのゾーンでお分かりいただけます。

そして木立に囲まれた野外音楽広場。ジャズにロックにフォークに、民謡に踊りにお届に、大自然に包まれての会場です。

これら各種の『菅生』の施設への足としては安全・快適なランドカーのレンタルがあります。

大きな青空のもと、さんさんと陽ざしを浴びてスポーツする。そして憩う。この『菅生』を存分にご利用いただく方々のために宿泊施設として25部屋、90名様がお泊りいただけるホテルがあります。また、この夏にはキャンプ場も開設の予定です。

大きな自然のびのび菅生

スポーツごろの大きなふれあい

販売店のみなさま、どうぞこの『菅生』をご商売の一助としてご活用いただき、お客さまともども新しいスポーツ・レジャーの健全な環境づくりにご協力ください。「菅生」はみなさまのご期待に応えます。



地元・村田町を代表してお祝いくださった大平町長とならんでテープカットする小池社長(右)



東北に新しい名所が一つ加わった「菅生」をベースに新しいスターの登場が生れるのも間近かだ

人と自然とマシンとのふれあい

菅

ヤマハがみちのく仙台市郊外・宮城県柴田郡村田町菅生に建設をすすめてきた総合スポーツ・レジャーの場『菅生』が5月1日オープン、5月5日までの多彩なオープン 행사를華々しくすまして平常営業に入りました。

歳王山麓に広がる210万㎡の雄大な自然、太平洋を一望できる景勝の地に生れた『菅生』は、モータースポーツゾーン、自然ゾーンからなり、その開発理念は“人と自然とマシンとのふれあい”を高め、よりゆたかなスポーツ・レジャーを創造すると同時に、理想的なマナーの確立を図ることにあります。モータースポーツを中心とした施設には

高度なライディングテクニックを学ぶロードレースコース、モトクロスコース、トライアルコース、カートコース等があり、それぞれ公式競技の場として使用されるほか、これらの競技に関連する各種のスポーツ教室が、新しいファンのために用意されています。

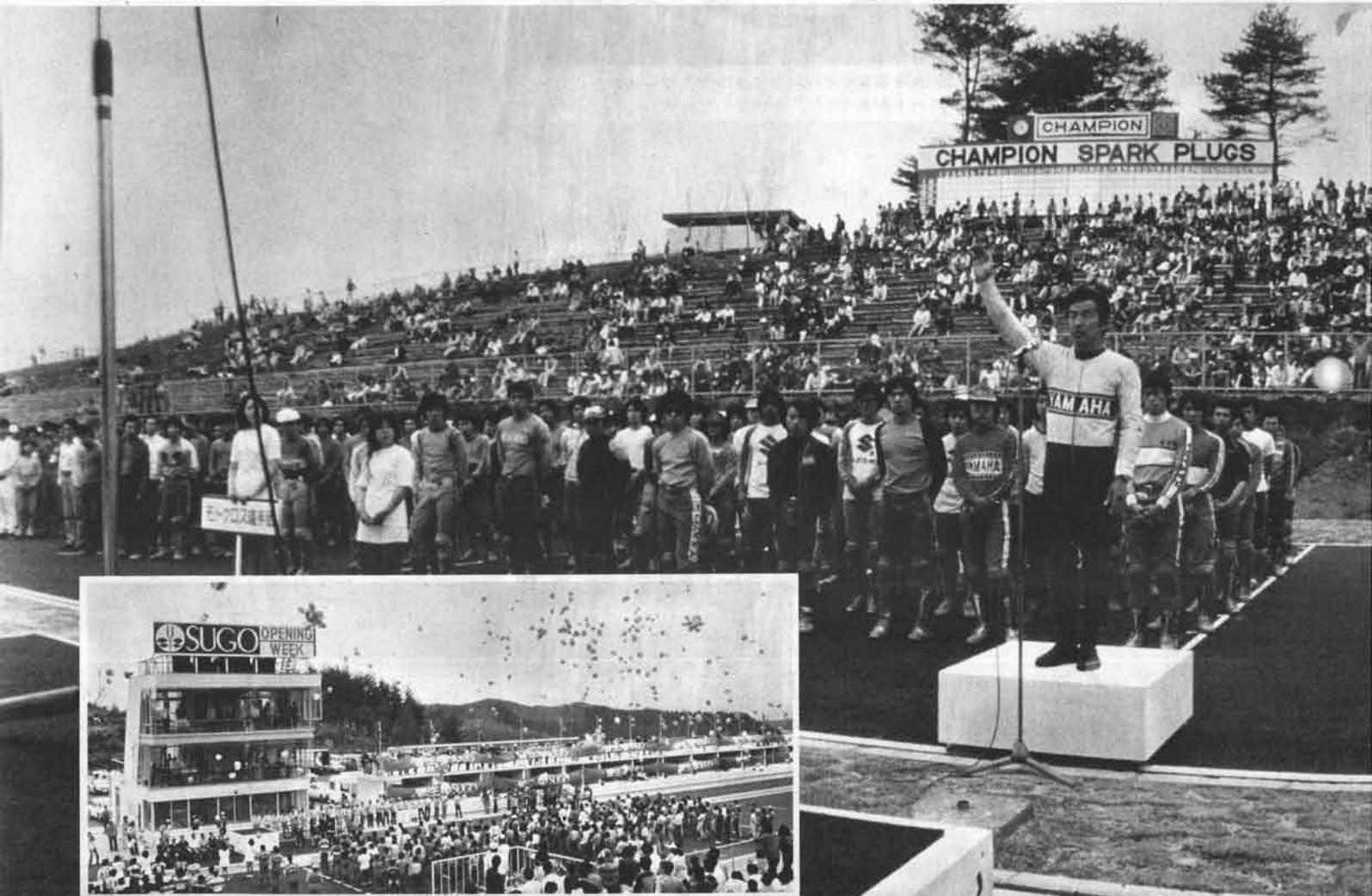
そのほかモトバイク、デューンバギー、ゴーカート、サーフカートなど、アイデアをこらした各種の乗物があり、モータースポーツ指向のお客さまはもとより、幼児から大人まで家族ぐるみでマシンを愉快地楽しんでいただくことが出来ます。

TY50やGT50など、おなじみの小型バイクによるミニトライアル、ミニモトクロ

スの広場は、若いバイクファンにとって正しい乗り方をマスターする絶好のトレーニング場としてすすめられます。16才を目前にしたヤングの方々には、経験ゆたかな専任コーチの乗り方指導員が新鮮な印象として永く心に記憶されることでしょう。

いっぽうランドの全域にわたるのが自然ゾーンです。今回のオープン第一期工事分のオープンですが、『菅生』のマークをかたちづくった“ふたりしずか”の草花をはじめ、四季おりおりに自然を彩る草木の美しさが散策道、周遊路の趣向を盛りあ

す。こうした自然に包まれて、忘れかけていた冒険心をよびもどし、心身の鍛練ともな

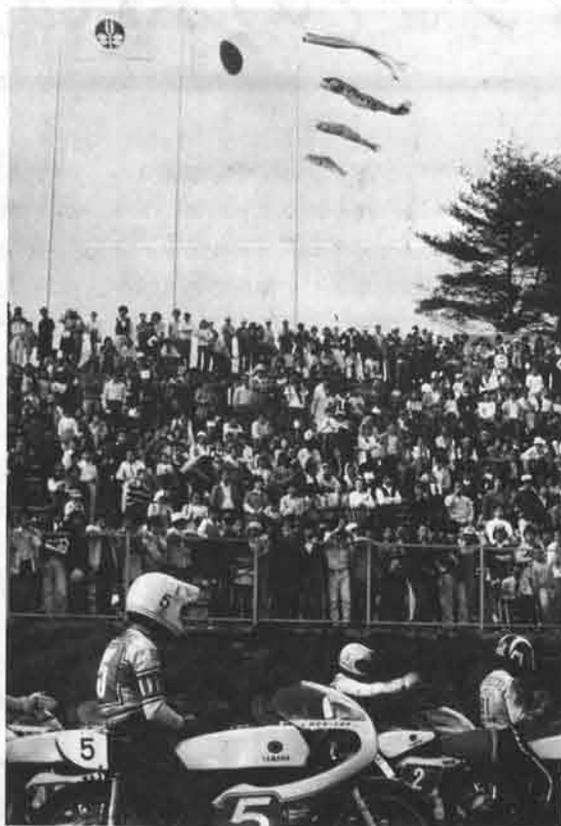


観覧席の多数のお客さまと一体で喜びのオープニング・フェスティバル。写真で見た有名選手がすぐそこにいる。みんなどんなレースを見せてくれるのだろうか……観覧席ははやくも熱っぽい空気に包まれた

●特集 菅生オープン



富んだコースは、マラソンやサイクルロード
トロールターの背後に広いパドックがある



14,000人を収容するメインスタンド。ホールの左にリー
ダーボードがある



右に左に小さなカーブが連続するヘアピン附近。これを
ぬけて右に大きくまわりながらストレートにつながる



ロードコースは全長2655m。日本で初めての
15Rのヘアピンから600Rのカーブや最大10
%の勾配を巧みに組合せたハイスピードコー
ス。スタート直後の第1カーブ地点に通称ダ
ンロップゲートの横断橋がある



メインスタンド前のストレートは673m。キ
ラリとカウリングが光って、突然マシンが浮
かびあがってくる。最大標高差75m





ピットに、バドックに、コントロールタワーに、管生のカートコースは世界でも有数の設備をもつ



緑の中のモトクロスコース。周辺の観客席は芝生のじゅうたんが敷きつめられている



高度なテクニックが見られるコーナー。観客席とは木柵で分離され自然とのマッチングを果している



勾配、カーブの変化にレースにも最適。コン



- ▲第2カーブに向うゆるい登り。カーブのアウト側にはグリーンベルトに沿って新式のセフティパッドがずらりならべられて高い安全性を確保している
- ▶トライアル・エリアは広く、沢、泥ねい、草木、ロックのセクションがあるほか、基本テクニックを学ぶトレーニングセクションが設定されている
- ◀全長1050mのカートコースは650mと400mの2種類に分けて使い、レーシングカートのほかレジャー用の乗物と同時走行もできる



●特集 菅生オープン



楽しく安全、そして愉快的な乗物がいっぱい。これは体重の移動でカーブする三輪・エンジン付のサーフカート



三輪、四輪のデューンバギー



人気コーナーのひとつは『おかしな自転車』会場。幼児から大人まで和気あいあい



2本のハンドルをペアでそろって操作するベアカート



ご存知ターゲットアーチェリー。林間の新鮮な空気を胸いっぱい吸込んで、ヒュッ、当り。



遊歩道にお祭り横丁出現。あなた自身が出展し、自分も楽しみ、みんなを喜ばそう!!というねらい。「菅生」名物となる企画です



楽しく遊んで、楽しい食事。きょうは楽しい子供の日でした



広場を利用して凧上げ大会。こんな「菅生」の利用の仕方があります



SLショップにはスポーツウェアから用品・部品がなんでも。ホテルの売店には選りすぐったお土産ものもあります



免許不要のモトバイク。レーサー気分も味わえて心臓、脚力もつよくなる。頑張る僕は大きく見える



ミニトライアル、ミニモトクロスのトレーニング場。ベテランコーチの指導をうければきょうから僕もライダーに仲間入り



▲スポーツの仲間、音楽の仲間が「菅生」に集合。新しい交流が芽生え、互いに多くのファンがつくれる

▶何かがありそう、起りこう? その名もすてきな冒険ジャルダン。飛んだり跳ねたり登ったり、はては宙ぶらりんからロープ滑車ブランコなどユニークなアイデアで冒険心とスリルを満喫。

バイクがあるからワシは元気じゃ

菅生にかけつけた73才の現役ライダー 高橋平三郎さん



バイクに乗れば年は忘れる——とばかりに元気いっぱいの高橋平三郎さん



息子さんと菅生へ。これはいい、バイクの楽しさを大いに広めたい——と。

「菅生」のオープニングには沢山の人が見えられた。バイクファンの人、音楽ファンの人、サイクルファンの人、そしていろいろな乗物のほか、自然との巧みな調和で冒険心を満喫した人。オープニングウィーク五日間におけるお客さまは四万人を越えた。

そうしたお客さまの一人に、今年七十三才の現役ライダー高橋平三郎さんがいた。



ツーリングはいいよ。旅は心をなごませる。数々の写真に楽しい思い出が甦える

バイクはわが人生の伴侶

すばらしい遠乗りの体験

「バイクはいいよ、楽しいよ。バイクに乗れば年はとらぬし、風邪もひかない」と口ぐせのように語る高橋さんは心から二輪車を愛し、今日に至っているファンの一人である。

子供の頃から二輪車が大好きで、三十分五銭の貸自転車にお小遣いの全部を投入、ついには特別待遇のお客さまとなったというエピソードをもつ高橋さんは、長じて自転車屋さんに奉公、ここでBSA自動自転車を手にし、やがて自転車店を東京で開いた。

山形県上市牧野原に現在の二輪車販売店「バンクヤ」を開業したのは戦後のことで、いろいろと苦労はあったが、いまはお店の経営を息子さんにゆだねて悠々自適のバイクのある生活を楽しんでいられる。

高橋さんの愛車はヤマハYB125。ここ数年の間に北海道から九州にまで足をのばし、子供の頃からの夢であったバイクの旅を楽しん

でいられる。蔵王の山麓の素晴らしい環境に囲まれての高橋さんだが、旅はやはり自然を求め、自然にふれあう喜びが何よりもたのしみであるという。

「遠乗りの思い出は、二年前九州の関門橋の渡り初めに参加したくて、米沢、新潟、富山、福井、大津、神戸、岡山、広島を経て下関まで、四日間で走ったことが一番の印象に残っています。このときは楽しさと不安の交錯で、めったにしない家への電話も入れたのですが、それだけに帰ってきたあとの充実感、ちょっと口ではいいあらわせないものがありました。休けい中に若いグループと交歓したり、都会では女の子が多いのびっくりしたり、とにかく見るもの、ふれるものすべて新鮮に感じられるのが旅の楽しさですね。それと、今度はどこへ行こうか、などと地図を広げるときもまた楽しいものです。」

バイクがあれば若さも保つ 「菅生」ではモトクロスをや

YB125を颯爽と駆る高橋さんの勇姿を見る人のだれもが、とても高橋さんを七十三才とは思わない。まして高橋さんはモトクロスにも挑戦しているのだ。

仙台で、東北モトクロスのイベントがあったときも店主競走に参加し、みことな走りを見せて若い者を驚かせた。そして今は近くの河原で若者といっしょにトライアルにも挑戦している。まさにバイクがあれば……の高橋さんの元気な毎日である。

「正直いって、まだまだ若いもんには負け

ないよ。なんたってキャリアがちがう」と声ほがらかに笑う高橋さん。「こんどは近くに『菅生』も出来たことだし、モトクロスをやるのが楽しみだ」という。

「まあ、こうしたことでは若い人たちといっしょに遊べるのも健康だからこそですね。自転車とバイクがあるから、ワシはいつまでも若い気持と若い身体でいられるんだ」

バイクの効用性を健康面でとりあげる高橋さんの姿は、五月の休日「菅生」のあちこちで見られた。

●特集 菅生オープン



全国に誇れる「菅生」

仙台市鹿野1-5-27

佐々木八郎さん

「仙台市内の販売店さんの招待を受け、早速駆けつけました。地元にもこのような総合スポーツランドが出来たことは大変うれしく、目を見張るものがあります。自然の中でのいろいろな施設は、ファミリー的な内容をふんだんに取り入れてありますし、老いも若きも存分に楽しめます。これはもう、全国的に誇れるものであると思いますよ。休みには菅生へファミリーで出かけようと思っ



女友達もつれてきたかった

酒田市・鈴木モーターズ内
酒田スポーツクラブさん

「酒田から雨の中を三時間半かかってやってきました。まだ全部を見ていませんが、すごい規模ですね。バイクに乗れなくても十分に楽しめますから、今度はガールフレンド



と一緒に、みんなで遊びたいですね。これからじつくりと見学し、仲間に報告してあげなければなりません。では食事中です」

オートキャンプで楽しむ

北上市黒沢尻町平沢4-16
小田島 毅さん



「オートバイクの本で、菅生のことは早くから知っていたもので、オープンを待ちかねて寝袋を積んできました。どうせホテルはいっぱいでしょ。モトクロスしか見たことがないので、オートキャンプしてロードレース、カートレースを見てみたい。とにかくこれからじつくり見させてもらいます」

平地に帰って住めるかしら

仙台市台原4-13-23
氏家 順子さんグループ

「仙台から菅生行ききのバスで一時間、こんなすばらしい所とは知らなかった。冒険ジャルダンって、名前前から面白そうだし、何か変わった新しいことがありそうで、いまみんながワイワイやっているの。足がプルプルしちゃって、平地に帰って住めるかしら。でもなんでコワイことに興味

がでるんでしよう。人間っておもしろいわね」



音楽とトライアルが目的

白石市短ケ町31

大森 享さん

「菅生のオープニングウィークは、販売店さんのチラシで知りました。本当にすばらしい施設で胸がはずみました。菅生での最大の目的はグリーングラスコンサートとトライアルの研究。トライアルはまだやってみたことがないんですが、これを機会に技術をマスターして、バイクを安全、適格にコントロールするテクニクスの向上を図りたいと思います」



まさか優勝するとは

宮城県柴田郡河原町上谷前
千葉 昭二さん

「テレビで知ったんです。天気もよかったのでどんなところかときたんですが、いやー楽しいとこですね」



サーフカートが珍しかったんで、何度か乗ったのち誘われてレースに出たら優勝しちゃった。ちよっとテレクさかったけど嬉しかった。サーフカート以外にも楽しい乗物がいっぱいあるし、アーチエリーや冒険ジャルダンなど、仲間と一緒に一日中遊べる施設があるので、これからはやるでしょうね。また次の休みにきてみたい」

日帰りのつもりが一泊で

多賀城市大代5-7-20

阿部 輝夫さんご一家

「新聞のチラシを見て、なにか楽しそうな所だったのでみんなきました。想像以上に楽しいところで、ついに予約なしにホテルに無理をいって泊ってもらい、きょう一番に冒



田植え時期に重なったが：

岩手県東磐井郡東山田町松川駅前
佐々木 輪葉
みちのくオートバイククラブ

「お客さまにせかされて、レースは富士にまで見に行ったこともあるんですが、今度は近くに菅生が出来たので、これからはいろいろと大いに活用していきたいですね。本当はきょうは、みちのくオートバイククラブの全員で見学にくる予定でしたが、あいにく田植え時期で、六人でしか



これらなかつた。残念ですけど、またこの次もあることですから。とにかく広く、大きく、すばらしい環境です。いよいよS時代の到来ですね」



は危ないからと反対したんですが、私が押しきってやらせたんです。それらどうです。五、六分もしないうちに一人でバイクをあやつっている。これには家内もびっくりした。しっかりと指導で、安全な場所であればご覧のとおりです。私も昔はバイクに乗っていたので、バイクのすばらしさはよく知っていますが、きょうは光康にとつて記念すべき日になりました。なんでも危ないからといって止めてばかりいたのでは教育になりませんものね。本当にきょうはよかったです」

きょうは息子のよい記念日

名取市手倉田諏訪307-3

熊谷 恒男さん

「たいへん結構なところで、菅生は東北の名所の一つになりますね。家内と子供をつれてきたんですが、中一の光康がミニトライアル場でバイクの乗り方を教えてもらった。家内

Special Color Views: SUGO



特集

菅生オーブン

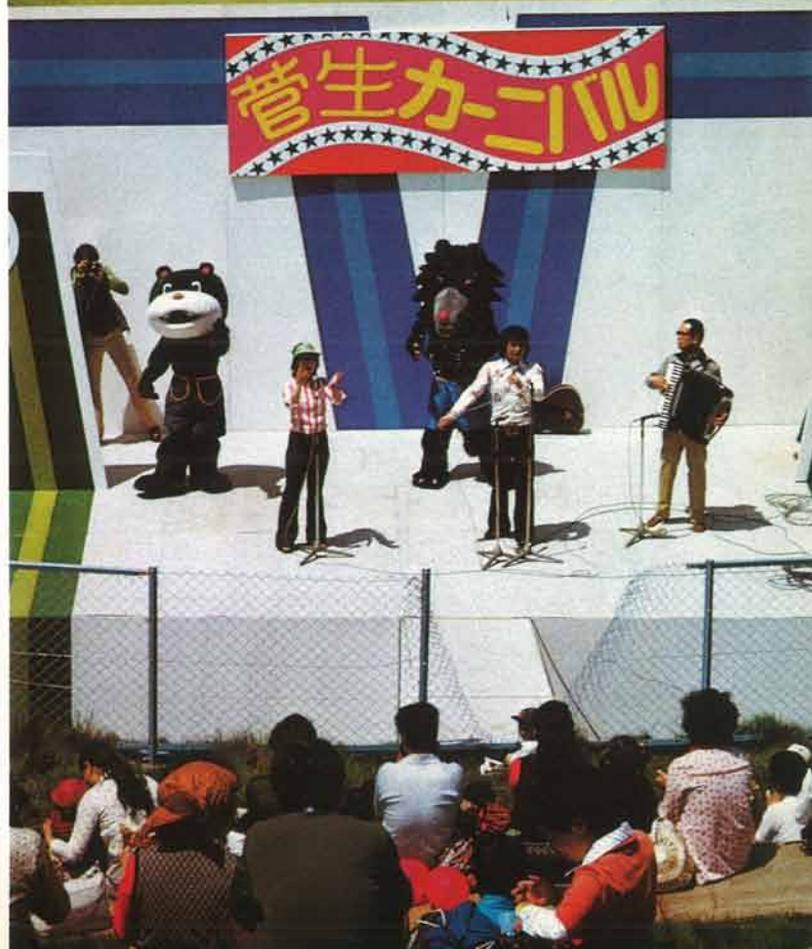
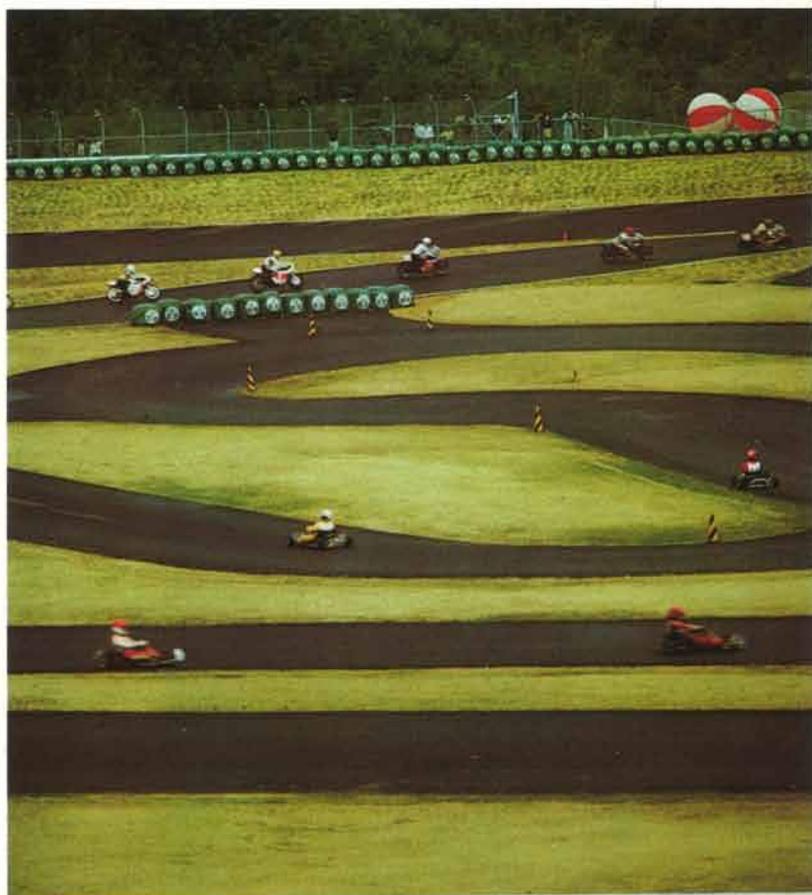
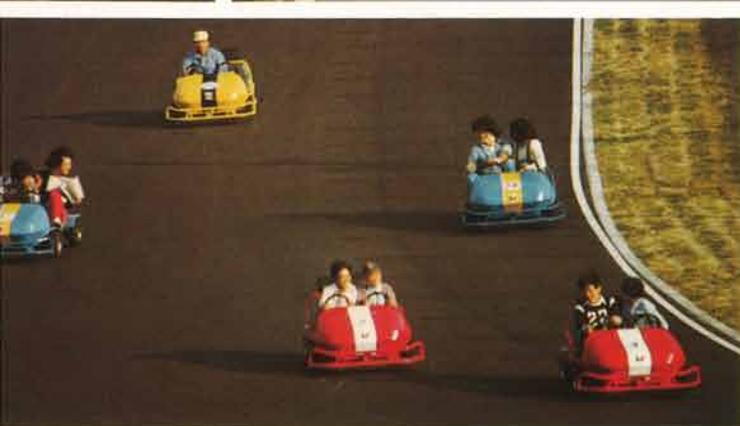
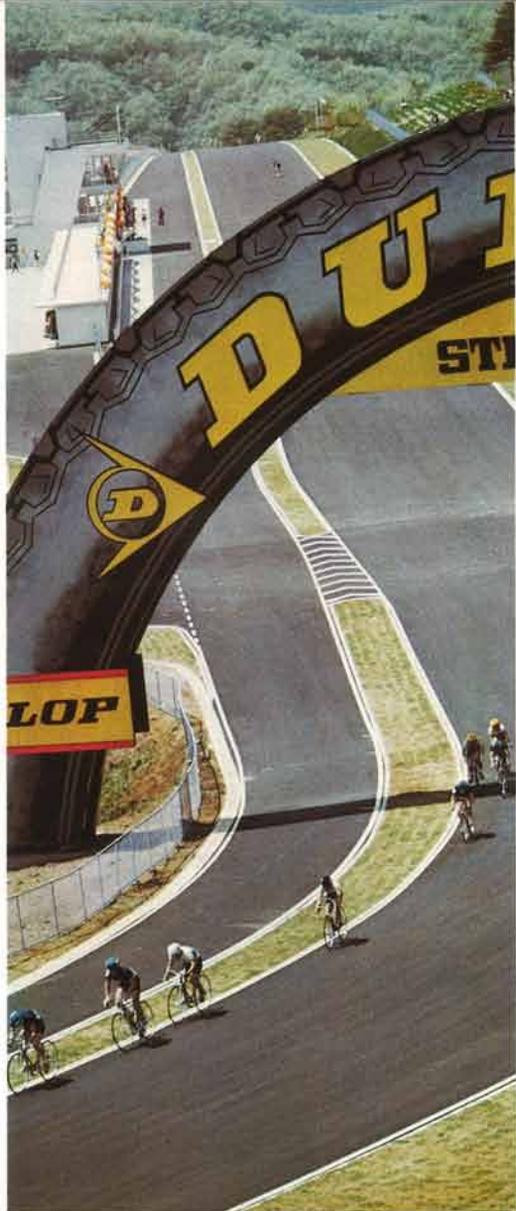
人と自然とマシンとのふれあいの場『菅生』。多くの人々が『菅生』を
共通の舞台として新しいスポーツ・レジャーの芽をそだてる。

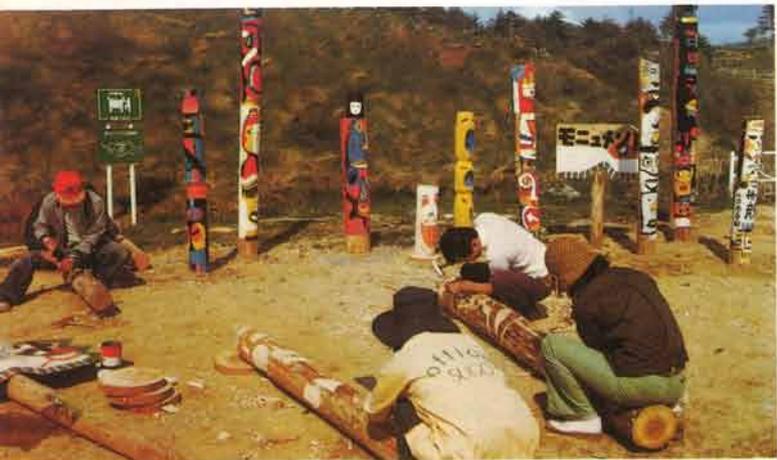
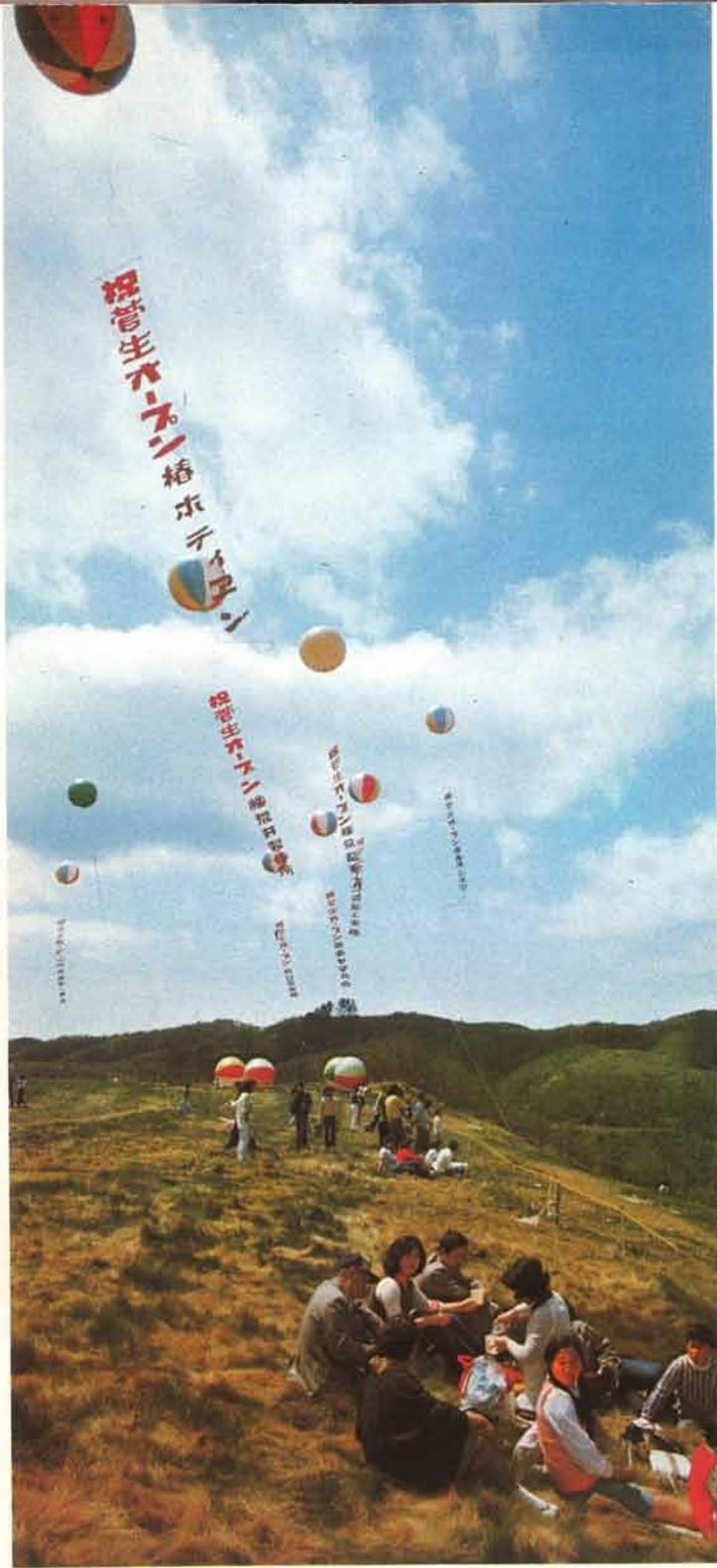
大きな自然のびのび菅生

スポーツごころの大きなふれあい



人と自然とマシンとの
ふれあいの場菅生





TY80

ニューポルトギーズオレンジ



エンジンはトルクインダクション方式の72ccで、出力特性は4.5Ps/6500rpm、0.52kg-m/5000rpmと無理のない回転数で発揮される扱いやすさを持つ。

TY80はひとり乗り。そのロングシートの下にはオートループのオイルタンク(1.2ℓ)、バッテリー、工具等が収納されており、横開きのシートはキーロック式。

新発売 ヤマハトトレール MR50

カラー、グラフィックを一新したMR50がデビューしました。内容的には従来のMR50と同一です。どうぞよろしく。

ホワイト



ブリリアントレッド



新発売 ヤマハトリアル



ヤマハトリアルTY80主要諸元

全長	1800mm
全巾	775mm
全高	975mm
シート高	705mm
軸間距離	1190mm
最低地上高	200mm
重量	71kg
舗装平坦路燃費	70km/ℓ (30km/h)
登坂能力	20°
最小回転半径	1800mm
制動停止距離	7m (30km/h)
エンジン	2サイクル・トルクインダクション
気筒数・排気量	単気筒・72cc
内径×行程	40×39.7mm
圧縮比	7.2:1
最高出力	4.5PS/6500rpm
最大トルク	0.57kg-m/5000rpm
始動方式	プライマリーキック
点火方式	マグネット
燃料タンク容量	4.7ℓ
オイルタンク容量	1.2ℓ
潤滑方式	分離給油(ヤマハオートルーフ)
バッテリー容量	6V4AH
バッテリー型式	6N4A-4D
発電機種類	フライホイールマグネット
発電機型式	F11-L47/FOTO012
発電機メーカー	日立製作所/三菱電機
点火プラグ	B-7HS(NGK)
キャブレター型式	VMI6SH
エアクリーナー型式	モルトプレーン
一次減速(比)	ギヤ(68/19=3.578)
二次減速(比)	チェーン(39/14=2.785)
クラッチ型式	湿式多板
変速機型式	5段リターン式
変速比1速	39/12=3.250
変速比2速	34/17=2.000
変速比3速	30/21=1.428
変速比4速	27/24=1.125
変速比5速	25/26=0.961
フレーム型式	パイプダブルクレードル
キャスト	61°
トレール	101mm
タイヤ寸法(前)	2.50-18-4PR
タイヤ寸法(後)	3.00-16-4PR
ブレーキ(前後)	機械式ドラム防塵防水式
懸架緩衝方式(前)	テレスコピックオレオ
懸架緩衝方式(後)	スイングアームオレオ
ヘッドランプ	6V15/15W
テール/ストップランプ	6V3/10W
フラッシュランプ	6V8W
パイロットランプ	6V3W

新しいスポーツ、トリアルのブームづくりを受継いで登場したTY80。独特のスタイルに新しいパワーをのせてトリアル・ランのレパートリーを広げると同時に、すぐれた実用性を備えたファッショナブルなバイクとして市場の拡大につとめる有力商品である。

中低速で乗りやすい エンジン性能

外観をご覧いただければお分かりのようにこの「TY80」は先に発売された「TY50」と基本的な相違点はありませんが、どちらかといえば、ファッショナブルな形態をそのままにトリアル指向の性能を広げたものであるといえます。

それは、新しく採用されたエンジンは「TY50」以上に中低速型として設計されたものであり、出力、トルクはそれぞれ6500毎分回転、5000毎分回転と実用的な回転数で得られるものとなっているからです。このため最大値の数値は80ccクラスとしては低くなっていますが(4・5馬力/0・57kg/m)、それだけに全回転域にわたっての出力の変化はなだらかで、きわめて扱いやすく、

売れているヤマハトリアルTYシリーズに、新しい仲間が加わりました。ファッショナブルなスポーツバイクとして人気の高いTY50につづく「ヤマハトリアルTY80」がその期待の商品です。

折からバイクにとっては絶好のシーズン。へ天気の良い日はバイクに乗ろうを合言葉に、計画的なセールスプランをたて商圏の拡大におつとめください。「ヤマハトリアルTY80」は新しいお客さまをつくる商品です。

かつまたパワフルです。

もちろんこのエンジンはピストン・リッドバルブ方式による吸入システムをもつトルクインダクションの2サイクルで、排気量の拡大にともなう冷却効率の向上が図られているほか、キャブレターが大型化され、また二次減速比が変えられています。

このほかエンジンに関連しての特徴は完全防水型の点火プラグキャップ、防水効果のすぐれた特別製のエアクリーナーの採用にあります。

数多くの特徴をもつ

車体設計

車体構成面においてはパイプのダブルクレードルフレーム、セリアーニ型フロントフォーク、5段調節式のリヤクッション、防塵防水式の前後輪ブレーキ、キーロック式横開き

ロングシート、標準装備のサブキャリヤ、エヤブリーザーパイプ付コンペティションタイプの燃料タンクキャップ、ポリプロピレン製の前後輪フェンダー、充実した灯火類、そしてユニバーサルトリアルのタイヤの採用など数多くの特徴をもっています。

中広なハンドバーはスリムな車体構成とあいまって独特な乗りやすさを生みだし、らくに足が地につくシート位置、3吋の太いリヤタイヤから安定したライディング感をもつて安全運転が楽しめるものとなっています。

フォートレストはギザ付の折りたたみ式となっており、200mmの大きなロードクリアランスと共に、大地を充分にトライできる性能は本車の大きなセールスポイントです。

なおカラーリングは右ページにあるようにニューポルトギーズオレンジで、街中での走行をひとときわひきたてるものとなりました。マフラーからの排気音も低く、より静かなものとしてあります。

'75世界選手権スポーツ

ヤマハチームの活躍つづく

国際スポーツシーズンはまさにたけなわ、ロードレース、モトクロス、トライアルなど各選手権種目にヤマハチームの活躍がつづいています。SSDT五回目のベストパフォーマンスをきめたミック・アンドリュウズ、日本人ライダーとしてGP初のダブルクラスウイナーになった金谷秀夫、そしてまた、勝ちつづけるベネズエラのワンダーボーイ、ジョニー・セコットなど、国際スポーツ界におけるヤマハの話題はつきません。



5月4日、ロードレース世界GP第3戦オーストリアで、日本人として初の二重勝、しかも重量級を制した喜びの金谷秀夫（中央。左ランシボリ、右は現チャンピオンのリード）



快調なペースでトップを独走するYZR500の金谷秀夫。まさに安定感あふれるフォームである。



ポールポジションからスタートする350cc級レースの②金谷秀夫（前列手前、その隣りが①アゴスチーニで、③ボンズ、⑩セコット）

ロードレース

四月二十日のシリーズ第二戦スペインGPのハイライトは、チャンピオン・アゴスチーニ対新鋭セコットの350cc級レースの勝負でしたが、セコットが終盤にみせた鋭い追い込みを振り切ってアゴスチーニが優勝、両ライダーの選手権ポイントはタイになりました。

250cc級レースは現チャンピオンのW・ピラ（ハレー）が首位、P・ボンズ（ヤマハ）が二位。

また125cc級のウイナーはP・ビレリ（モルビデツリ）で、ヤマハのK・アンダーソンが二位でした。

五月四日の第三戦オーストリアGP 350cc、500cc両級は、ベテラン金谷秀夫が素晴らしい腕の冴えをみせて二重勝。日本人ライダーのGPダブルはもちろん初めてですが、特にこれまでに至難の業とされていた重排気量ニクラス優勝が金谷によつて達成されたのです。

125cc級は、P・ビレリ、P・ピアンキのイタリア・モルビデツリチームが一二位を独占しました。

ニュルブルクリンクからホッケンハイムに舞台を移した今年の第四戦西ドイツGP（五月十一日）で、500ccタイトル奪還に意欲を燃やすG・アゴスチーニのヤマハフォーとライバルP・リードのMVフォアが、ともに最高調でレースに臨み、インチを争う熱戦を展開しましたが、アゴが結局約四秒の差でリードを振り切り、貴重な二勝目をあげました。

今年の350cc級タイトルは、アゴスチーニとセコットの間で争われる可能性がいよいよ濃くなってきていますが、西独ではアゴスチーニがリタイアしたためセコットが楽勝、タイトル争いのポイントで単独首位に躍進しました。

125、250cc両級は、スペインGP同様、P・ビレリ（モルビデツリ）、W・ピラ（ハレー）がそれぞれ優勝しました。

モトクロス

世界選手権モトクロスは、250cc級が、オーストリアGP（四月二十日）、ベルギーGP（四月二十七日）、チェコGP（五月四日）、ポランドGP（五月十一日）とスケジュールを消化、すでに中盤戦に入っています。

ヤマハのエース、H・アンダーソンは、各GP常に上位に入賞、シリーズ後半のダッシュに期待がかけられます。
また世界選手権初出場の鈴木秀明選手も予想以上の健闘を続けています。

また500cc級モトクロスは、四月十三日のスイスGP、五月十一日のイタリアGPと二戦を消化しましたが、A・ヨンソン、J・V・ベルソーヘンのうちヨンソンが特に好調で、目下選手権争いの三位にがんばっています。

トライアル

ミックのベストパフォーマンス

第五戦 フランス・ラウンド

シリーズ五戦目のフランスで、ミックが今年初のベストパフォーマンスをまめました。リヨンとスイスとの国境に近い山岳地帯に設けられたこのコースに詰めかけたファンは

約二万、トライアル競技としては記録破りの大観衆でした。

ミックは、五十キロ二十二セクションニラップを減点五十三でカバー、ランナーアッパ

M・ラスメル（モンテサ）に十六点の差をつけました。ミックがヤマハマシンに乗って以

来、フランスではこれで三年連続のベストパフォーマンスです。



世界選手権トライアル第5ラウンドのフランス戦で、ガレ場を慎重に下るミック。この優勝でフランス戦では3連続優勝をヤマハで果たした。

速報

ミック(ヤマハ)SSDT連続制覇!

通算5優勝でサミーとならぶ

五月五日から十日にわたって、英国スコットランド・エジンバラの荒野六九七マイルをカバーした世界最大のオブザベージョン・トライアル「スコティッシュ・シックス・デイズ・トライアル(SSDT)」で、ヤマハYZT250に乗るミック・アンドリュースが減点38の驚異的な成績で、昨年にひきつづき二年連続してベストパフォーマンスに輝いた。

ミックのSSDT優勝はこれで通算五度目の偉業となり、サミー・ミラーの記録とタイで、SSDT史上最多勝利者となった。ハイランドの王者ミックにふさわしい大記録である。

なお、四月二十一日に空路渡英、SSDTに初挑戦した木村治男は減点285の成績で、ファーストクラスアワードの上位となった。



雪を白く残す蔵王をバックに今年2度目のセニア125を制した杉尾良文。



快調なペースでラップを重ね、エキスパートジュニア3度目の二重勝をなしとげチャンピオンの座に大きく近づいた東福寺保雄。

東福寺(EJ)三度目の二重勝 セニア125は1・2・3位を独占

●全日本モトクロス選手権第4戦仙台大会

4月初旬、本州西端の山口で第3戦を消化した全日本モトクロス選手権シリーズは、桜前線とともに一挙に北上、4月20日に桜が満開の仙台市郊外菅生の旧仙台テクニカルハイランドで第4戦が開催された。この日仙台地方は上天気に恵まれ、まさに花見日和、スポーツ日和であった。この仙台大会でヤマハ車勢はセニア125cc級で杉尾良文が頭をとり以下3位までも独占。またエキスパート・ジュニアでは東福寺保雄が山口大会に続いて3度目の二重勝を決めるなど大活躍であった。

第4戦はジュニアからセニアまで合計7レースが組まれた。決勝の第1レース、ジュニア90cc級で北村隆資(長野)が早くも3勝目を上げ以下6位までをヤマハが占め、幸先のよいスタートを切った。
 この後行われたセニア125cc級(40分+2周)もまったくのヤマハ車勢の独壇場。3周目までトップに立ったのはベテラン鈴木忠男、以

後鈴木都良夫、杉尾良文と入れ変わり、ヤマハ勢同士のトップ争いになった。特に後半の都良夫と杉尾のデッドヒートは大いに会場を沸かせた。しかし都良夫は終盤おしくもヘアピンカーブでコースアウト、結局杉尾が勝利を手にした。以下瀬尾勝彦、岩尾一敏と次々にヤマハYZMがチェッカーを受けた。都良夫はこの後の250cc級で小田切信雄(スズキ)と接戦を演じたが惜敗し2位に甘んじた。3位は竹沢正治(カワサキ)。
 東福寺保雄はここでも強かった。エキスパートジュニア125cc級では文句なしのダントツの勝利、同250cc級では終盤に転倒、2位の吉原朋正(ヤマハ)に抜かれるかと思われたがよく立ち直り、3度目の二重勝を飾った。もう一人注目すべきはジュニアの大泉浩一(ヤマハ)だ。宮城県出身の大泉は250cc級では2位に終わったが、125cc級では地元の声援によく応えて、4位に優勝した。

畑山ベストクリーンを獲得 惜しくもランナー・アツプに

●全日本トライアル選手権第4戦関東大会

今年から組まれた全日本トライアル選手権シリーズは順調にそのスケジュールを消化、第4戦が4月27日に東京都稲城市の富永オーランドで開催された。この大会、S・S・D・T参加のため木村治男(ヤマハ)の不出場で幾分さびしさはあったものの、ヤマハ勢の中では前回同様東北の新鋭・畑山和裕が活躍し、惜しくもB・P・ベストパフォーマンスは逸したものの、ベストクリーン賞を得て、加藤文博(カワサキ)につづくR・U・ランナーアツプを獲得する健闘をみせた。

第4戦の舞台は、その殆んどが杉木立の中で赤土におおわれた路面、その所要所にロックセクションのあるコース作りがなされた。当日は時折小雨がぱらつく程度のトライアルとしてはまずまずの天気だったが、2、3日つづいた菜種梅雨のため、コース全体がかなりぬかるんでいた。関東を中心に全国各地から参加したエキスパート、ジュニアの精鋭72選手はこの難コースに果敢なトライを試み、トライアル独自のなごやかな雰囲気の中にも緊迫した競技が展開された。



ドロドロのマディとロックのセクションにチャレンジするベストクリーンの畑山和裕。

をつめるべく懸命なアタックを見せ、加藤が征服出来なかった難セクションも次々にクリーンし、観衆を大いに楽しませた。そして結局減点数では加藤におよばなかったものの、見事にベストクリーンを手中に収めた。TY125、出場の大月信和はベテランらしい落着いたライディングで5位に入った。なおジュニア部門では、TY250の松谷勝則(東京)がB・Pとベストクリーンを合わせてものにした。

片山(S・750)、 猛烈な追込みで逆転優勝

●全日本ロードレース選手権第3戦鈴鹿大会

ロードレース世界GP第3戦(オーストリア)5月4日)で金谷が初めて500cc級と

350cc級のダブルウィナーとなり、モータースポーツ界に大きなセンセーションを巻き起こ



スタートの遅れを懸命にリカバーする片山敬
 済(TZ350)の猛烈な追込み。

しているが、国内においてもヤマハに乗るライダー達は活躍をつづけている。
 全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦は鈴鹿サーキットを舞台に、4月28・29の両日開催され、ぐずつき気味の天候ながら176台のマシンの間で熱戦がくり広げられた。
 コースは前日27日に降った雨のおかげで28日の予選では路面はかなり濡れており、各選

手共に重要なライディングとなった。その中でセニア750に出場の片山敬済(TZ350)はフォーミュラリブレにKR750で参加した和田正宏などのカワサキ勢を抑えてポールポジションを獲得した。
 29日の決勝を迎えても空模様はあまりバツとせず、最終のメインレース、EJ/S-1750まで天候が持つかどうか危ぶまれたため、後半のレースは短縮されEJ/S-1750も2周短かい15周で争われた。このレース、片山はスタートをミス、大きな差をつけられての苦しいレース運びとなった。しかしその後片山・TZ350のコンビは猛烈な追いこみを見せ、先行する各マシンを次々にゴボー抜き、またたく間にトップ集団におどりこんだのだ。結局片山はトップを行くビッグマシンの和田正宏をとらえることは出来なかつたものの清原明彦(KR750)を大きく離して2番目にチェッカーを受け、セニア部門での優勝を飾った。同部門、2位は大脇俊夫(TZ350)、3位は吉田一夫(TZ350)。EJでは吉田に続いた松本吉正(TZ350)が1位となった。
 この他ヤマハはジュニア250、350とノビス125、250をものしたが中でも酒井克(TZ250)がJ250のコースレコード(2分32秒9)を樹立して優勝したのが光った。

悪コンディションの中

若手勢の活躍が目立った

第12回 モトクロス 日本グランプリ

●全日本モトクロス選手権第5戦鈴鹿大会

第12回モトクロス日本GPは鈴鹿サーキット・モトクロス場を舞台に、5月4、5の両日に開催が予定されていたが、前日まで降りつづいた大雨のためコースはドロ沼と化し、走行不可能な状態となった。このため4日に予定されていた各レースは翌日にくり延べと

なり、5日に全レースを大幅に短縮して挙行することになった。またコース自体も従来のコースを三分の二程度に縮小された。
 この悪コンディションの中、グランプリとしては異例のタイムスケジュールとなったこの大会、総計386台という多くのエントリーで

はあったが、各選手ともに実力を十分に発揮出来るまでには至らなかつた。しかしその中にあつてもYZを主力とするヤマハの若手勢が大健闘、ノビスからエキスパート・ジュニアまでの6レースを全て手中に収めた。中でも、「戦国時代」といわれるほど実力の伯仲したジュニア部門で、並い強敵を抑えて125、250の両級を制覇した福田敬治(岐阜)のライディングが光った。またこの部門の90cc級では、ヤマハの北村隆資(長野)が圧倒的な強さで、このクラス今季4度目の勝者となった。

川崎利広(カワサキ)に続き3位に入賞した。このレースで期待の鈴木都良夫はスタート直後内藤勝司(スズキ)と接触転倒、すぐに立ち直って果敢な追撃を開始したが3周後に再び転倒しレースを断念せざるを得なかつた。手首のケガも回復し調子を取り戻していただけに残念なアクシデントであつた。
 エキスパート・ジュニアでは今年3回も二重勝をやつてのけた東福寺保雄に期待が寄せられたが、実力を発揮出来ずに終つた。かわりに125cc級では最年少の光安鉄美(福岡)がまた250cc級では吉原朋正がそれぞれ今季初優勝しヤマハの若手勢の層の厚さを示した。
 GPとして今年から復活したノビスは125cc級だけが行なわれたが、第2戦で125、250のダブルをとつた塚本喜好(愛知)がYZ125を巧みに操り予想通り優勝した。



2クラス制覇おめでとう! 喜びの福田敬治



GPにふさわしい息づまるトップ争いを演じて満場を沸かせた①都良夫と②増田。



悪コンディションの中を、YZの実力を存分に発揮してジュニア2クラス優勝の福田敬治。

山内一豊の妻、「お千代さん」に代表される「内助の功」〈妻は夫を助けつつ……〉も、時代とともにその姿、かたちは変わりつつあるようです。

このページは、全国のヤマハ販売店の奥さまをお訪ねし、「わたしの内助論」「女房としてのわたしの幸せ」を語っていただくもの。さて、あなたはどんな「奥さま」でしょうか。乞う自薦他薦。

わが
「内助の功」



カタログ入れを整理する。ちょっとした心遣いがお店の印象を高める

もっぴり 外回りの仕事は私の受持ち

光本 敏子さん(33才)

(サンコー商会・光本義治夫人)

結婚するまで私は会社づとめのOLだったので商売のことはもちろん、オートバイや自転車のことも何も知りませんでした。ですか

ら初めのうちはいろんなことを勉強するのに大変でした。もっとも修理関係は全て主人がやってくれましたので、私はもっぴり外回り

の仕事を一生涯懸命おぼえました。結婚してすぐに車の免許も取りましたし。で、今では午前中に家のことを片づけて午後は車を運転したり、メイトに乗ったりして納車や銀行関係それにお客さまのオートバイの登録など外回りのお仕事に出かけるんです。

うちの場合ご覧の通りよそのお店と違って従業員さんも置いていませんので、主人と二人だけで商売のこと全部やってるんですけど、お互いに信頼し合って仕事を分担して張り切ってやっています。そういうわけで私たち持ちつ持たれつの充実した楽しい毎日を送っています。

そうね、私たちが商売をするうえで気をつけていることと言いますと、なんととっても「お客さまの身になって考える」ということです。ですからアフターサービスはもちろんですが、新車をお客さまにおとだけする時でも、主人が改めて細部にわたる納車点検をしてお客さまに安心して乗っていただけるように心がけています。それともう一つは「誰れに対しても平等に出来るだけのサービスを心がける」ということです。もっともこれみんな主人の受け売りなんですけど。

主人は自分では「俺は頑固で融通がきかない人間だ」なんて言っていますけど、私はとても思いやりのあるやさしい人だと思って信頼し切っているんです。ですから私は主人の言うことを安心して聞くことが出来ますし、言う通りのことをしていればよいので楽なんです。この信頼が結局「内助の功」に結びついて来るのではとも考えます。もっとも前提となるのは主人が信頼出来るとても立派な人だということがあるわけですね。

私たちがこうしてお仕事に一生懸命打ち込むことが出来るのは実は大きなわけがあるんです。と言いますのはね、私たち、主人の父と母と一諸に住んでいるんですけれど、それはもうとてもよくしてくれるんです。午後、

ヤマハ奥さま



こんにちは
ヤマハ奥さま

お客さまにちょっと一言アドバイス

ヘルメットのアゴ紐はなぜ長い 正しいヘルメットのかぶり方

私のいない間の家の事や、人の小学生の子供が学校から帰ってからの面倒も実によく見てくれますしね。学校が休みの時なんか、私たちがお仕事でいそがしいので、おじいちゃんや子供たちを遊びに連れて行って下さいませ。私はそういう意味でもとても恵まれています。ですから本当の意味での「内助の功」は父と母にあるんじゃないかと思っています。

私たちが結婚したのは11年前でお見合いだったんです。私は初めてのお見合いで、まあひと目惚れ(?)というわけだったんですけど、主人たらそれまでに13回もお見合いしてたんです。私はそのほとんどが向こうさんからふられたんだと思うんですけど、主人たら「お前みたいになさな女性が現われるのを待っていたんだ」なんて言ってくれて。あら、ゴメンナサイ、おのろけみたいなことばかり言ってます。今私たちがしたいことと言いますとね、半年前にこのお店を新装オープンさ

前号でもお知らせしましたが、道路交通法施行令の一部が改正されて、いよいよ七月一日からヘルメットをかぶらないで自動二輪車(50ccを越えるもの)を運転すると、反則点数一点が科せられ、度重なりと免許停止や免許取消の処分になります。

ヘルメットをもつていても、ちよつとそこまでだからよいだろう、と、かぶらないですましている人がいるようですが、これからはそういうわけにはいきません。

また意外とヘルメットの正しいかぶり方を知らない人が多いようです。ヘルメット着用のPRと同時に、お客さまにちよつと一言ヘルメットの正しいかぶり方を知らせて下さい。

〔かぶり方〕

ひたいのほうからうしろにまわすようにしてかぶるのが基本。ジェット型ではこのときヘルメットの両端をおし広げるようにしてかぶります。こうすれば髪の乱れもなく、スムーズに、安定よく頭におさまります。(1)



〔脱ぎ方〕

かぶるときと反対に、うしろにまわすようにして脱ぎます。こうすればフルフェイス型も非常に脱ぎやすくなります。ジェット型で眼鏡使用の場合など、かぶるときと同じようにアゴ紐のつけ根の両端をおし広げるようにしてうしろに脱げば、眼鏡をずらすようなこともなく、スマートに脱げます。(2)

〔アゴ紐の締め方〕

まず止めの具にアゴヒモの先端を通します。そこで折返してもう一度、止めの具に通しますが、これでは外すときが大変です。(3)

アゴ紐の先をふたつに折ってから止めの具に通せば、脱ぐときに、アゴ紐の先を引っ張るだけで外せます。ヘルメットのアゴ紐が長いのはこのためのものです。(4)



チャビイなら奥さまひとりでも車に積んで納車するの慣れたもの

せたので、もうちよつと頑張つて裕が出来る暇を見つけて家族そろってちよつとした

旅行をしたいと思っっているんです。

(三重県四日市市小古層二丁目9番16号)

女性ユーザーが増えれば 街の風景も新しくなりますわヨ

杉山 由起子さん (小平市小川西町2281-4)



「チャビイに乗っていると、まわりの奥さま方から「由起子さんは若いワネ」っていわれるんですけど、わたしは若いからバイクに乗ってるんじゃないかと、バイクに乗っているから若いのヨ、っていつてるんです。本当は若さいっぱいなんですけど、ホホホ。

身体がフラつきませんし、お買物の荷物をのせているときもとても安心なんです。いまのように陽気のよい時は、本当に走っているんだなアって感じますね」

「わたしの場合、スピードに対するあこがれはまったくなかったのヨ。バイクの効用性は自動車とちがって気軽に乗れる機動性と経済性があり、先にもいったように自転車にくらべても安全、快適ということにひかれたんです。四月十五日購入したチャビイはそれを主人に立証してくれました。

でもバイクに乗って何よりも楽しいのは、自動車の少ない小道を走るときがいちばん。自転車と違ってペダルを踏まないから

可愛いお子さまをもつチャーミングなお母さまである。由起子さんが原付免許をとったのは今年のはじめ。ご主人に相談して奥さま自ら車種選びをするほど乗だかつた理由を

だつて、最近では会社の休みとなるとチャビイのキーを持ったままなんです。先日、多

天気の良い日は バイクに乗ろう



「長女の亜樹です。いずれ私と同じようにバイクに乗るんじゃないかしら……」

摩湖に家族でドライブにいったとき、車で子供をのせていった主人は、目的地につくとチャビイでついできた私に子守を押しつけてチャビイを乗りまわし、「空気がうまい」なんて平然としているんです。

主婦としての生活に、アクセントをつけるためにもチャビイの効用性は大きいのです。バイクに乗って自然を見直すことが出来るなど、思わぬ方向に私たちをふりかえらせてくれたようすわね」

由起子さんのバイク礼賛はさらにつづく。「日頃から安全には気をつけていますが、主人は「まだまだ半人前だ」なんていうんです。でも、今年の夏休みには、実家の札幌まで帰ろうと思っているの。全行程をバイクで走るのはまだちょっと自信がないので、フェリーを使ってチャビイを持っていきたいわ。到着

したら母にもバイクをすすめようと思つてますのよ。オートマチックならわずかの練習でも乗れますし、自転車よりも楽なことははっきりしてますもの」

二人のお子様がいるとは思えない活発な奥さまの計画ではある。最後に由起子さんは、「わたし、バイクを自転車に乗るような気持ちで乗っているんです。便利なものは楽しく、安全に利用したいものですわね。それと、もっともつと多くの奥さまが、チャビイのようなバイクに乗っていただきたいものね。そうすれば、街の風景もかわってくるし、道路のトゲトゲしい空気もなごやかなものとなり、全体にスロースピードも徹底するのじゃないかしら。とにかく、肌で風をきって走って感じはいいものですわね」



トライアルでお店の知名度をアップ、またそれがトレール、スポーツなどの新しいお客さまを広げていく——近藤一社長（中央）とお客さま（左）

こと
こと
あんな
あんな

トライアルなら おやさんの理解もはやい

「夕方になると若いトライアル仲間が多勢店にあつまってきた、遅くまで店を閉めることができない状態なんです」と、トライアル車を扱うことよって一段とお店の動きが活発化してきていることを喜んでいるのは三重県伊勢市の近藤商会さんです。

もちろんこうしたお店の盛況さをひきだしただけには、モータースポーツに対する理解と安全運転の普及を図る努力があったことはいまでもありません。

近藤商会さんのお店には、MFJ公認グループの「トライアルクラブ・イセ」がありまが、すでに六人のメンバーがジュニアクラスのライセンスをとるなど、「トライアルなら近藤」の名を高めています。

「トライアルならすぐ近くの山で出来ますし、危険性も殆んどないので、高校生のおやさんも十分に理解してくれます。競技を一度見てもらえれば、これなら安全運転にも役立つし、見ている面白いです、くどくど説明しなくとも納得してもらえます」

近藤商会さんのもつかの主力商品は当然のことながらTYシリーズ。中でも最も力を入

れているのがTY125です。

「性能、スタイル、取りまわしやすさの面で、若い人にもつともマツチングのよいのがTY125ですわね。値段的にも若い人には無理なくすすめられるのは大きな魅力です。」

またトライアル競技に参加した人が、とくに高校生などが学校で口コミでうちの宣伝をしてくれるので人気が出るといいます。

今年秋までに6回の競技会を開き、年間チャンピオンもきめるとのこと。また会費はいつさいとらず、諸経費はお店が負担しているとのことですが、「長い目で見れば、出費した分は必ず戻ってくる。お客さまがそうしてくれまますよ」と意欲的です。

同じ伊勢市には、さん新なアイデアで評判の栄モータース（古川隆夫社長）さんがありますが、近藤商会さんと栄モータースさんとはお互いによく協力しあつて新聞の折込みチラシなども共同で行つており、新車展示会なども共同主催で、伊勢市シェアアップを図っています。

近藤商会 近藤 一社長
三重県伊勢市神社港31-1

バイクに乗ろう 販売促進活動

楽しく遊んでテクニクをマスター

二輪車安全大運動会

長野／松本ヤマハメイツ

オートバイの販売だけでなく、オートバイの正しい乗り方や遊び方を普及して安全運転に役立てようと、長野県松本市の七店のフレンド店さん（古田商店、小林モーター、上島スポーツ、古幡モーターズ、山田モーター、野村商会、桐原輪店）が集ってつくられた松本ヤマハメイツ（MYM）が、このほど「ヤマハプレイファイル」にもとづいて「MYM二輪車安全大運動会」を開きました。

会場の松本市郊外食肉センター駐車場を会場にして行われたこの催しに、女性を含むお客さまがあまり、好天のもと各種のプレイを楽しみました。

MYMのみなさんのこうした催事は今回が二度目のもので、地元テレビ局の取材もありましたが、ヤマハ長野・松本支店との協力で企画した内容は、①取扱い方の基礎を修得するバランスのとり方、②走行条件に合致した適切なスピードのコントロール、③周囲の状況変化に対する適切な判断能力を重点にスラローム、タイムレース、関門くぐり、やぶさめレース、じくざぐ一本橋、アベックレース、コーラ飲み、たるころがし、おそ乗り競走、風船運び、ミニトライアル等々が実施され好評を博しました。



関門くぐり、巧みな重心移動とバランス保持が要求される。頭上のサオと足元に目が光る。



これは減点5。失敗は成功のもと。次の種目は減点0を目差して……。



ジグザグ一本橋。これがなかなかむつかしい。それだけに運転技術の向上にも役立つ



楽しみながら安全運転の基礎を学ぶ。こうした行事を通じてバイクのファンが広がる。

天気の良い日は 各地で盛んな



見た目にはやさしそうだが、スムーズにやっけていくとなるとなかなかたいへん。そこがまたおもしろい



まずトライ。そしてまたトライ。指導員の適切なアドバイスによって技術の上達は早い

TYトリオの魅力を増して

東京／城東トライアル教室

東京の大月ヤマハ、金城サイクルさん主催による「第一回城東トライアル教室」が四月二十日、千葉県鎌ヶ谷市で開かれました。

TY 250につぐTY 125、TY 50の発売によってヤマハトライアルトリオの人気はめざましい上昇ぶりを見せていますが、これらの車種のお客さまに、トライアル競技の楽しさも知っていただき、バイクの魅力をさらに広げていこうとい

う趣旨で開かれたものです。

大月ヤマハの経営者でもあり、国内トライアル競技のトップクラスの選手でもある大月信和氏など第一級のインストラクター陣のコーチで、約三十人の受講者は、初心者とも思えない上達ぶりを見せ、午後からは模擬競技に出場して、天気の良い一日を存分に楽しんでいました。

ミニトレだって楽しさ最高

大阪／ミニトレ・トライアル教室

いっぽうこちらはヤマハとの業務提携がすすめられている大阪モーターサイクル高等学園（堺市針ヶ峰）を会場に、ツーリングやラリーリングなどスポーツ・レジャーの普及に力を注いでいるイズミヤ商会（泉谷栄樹社長）さんが、橘田忠博選手をインストラクターに、「ミニトレ&トライアル教室」として開催した初心者のための基本

テクニク講習会。

あつまつた二十五人の参加者は、橘田インストラクターの指導よろしく、丸太越えその他の障害物を前に、バイクを正しく扱うコツを会得、トライアルへの道しるべを得たものでした。こうした催しは関西地区でも人気が高く、休日にはどこかで開催されるほど普及してきています。（大阪支店・普及本部）



ミニトレだってそのレバートリーは広い



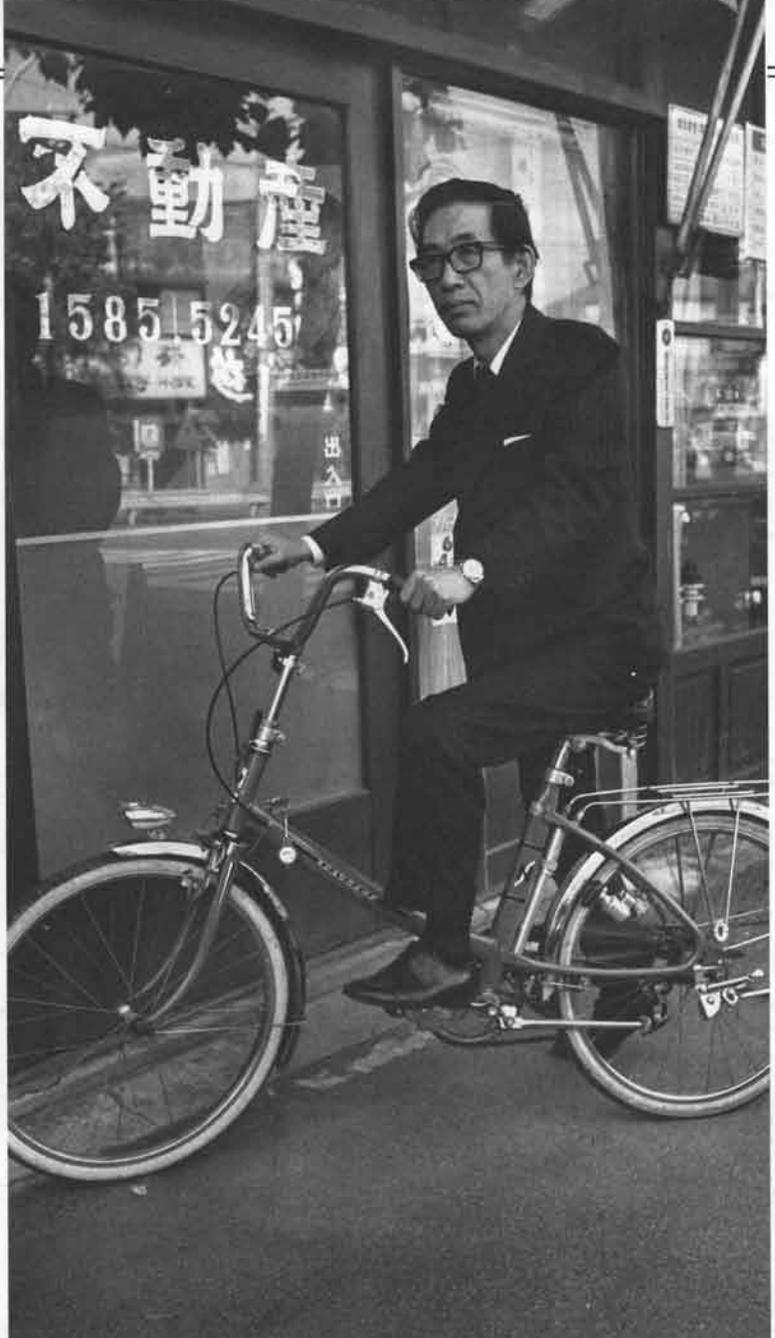
仲間が集えば話題も豊富。明日のトライアラーの誕生もちかい

ユージョー登場

わか友、プジョー

東京都新宿区舟町11番地

日野 二良さん



「プジョーに決めて良かった」と、四谷サイクルの鈴木さんと語る日野二良さん

坂道で感じるプジョーの軽さ

今回のプジョーのお客さまは、東京・四谷で不動産会社を経営している日野二良さん。混雑した東京の街の中でも、自転車は近くの連絡やショッピングの足として見直されてきており、根づよい人気をもっています。

日野さんの足がわりをつとめているプジョーも、タウンサイクルとしては評判の高いN S-40型。重宝に使われている様子です。さっそく、プジョーを購入した動機を日野さんにおたづねしたら、はじめの言葉は予想外のものでした。

「正直にいいますと、最初はどんな自転車でもよかったです。ただ、私の会社の隣りがヤマハの販売店である四谷サイクルさんな

ので、さっそく相談してみたら、社長、四谷は坂の多い町、それだけに乗って楽なものを選ぶべきですよ。最低条件、軽いもので、変速機つきのものを選んでみてください」とアドバイスをうけて手渡されたのが、プジョーのカタログでした。

さすが地元、しかも永年ご商売をつづけている四谷サイクルさんのアドバイスは的を得たものです。

「それでその後、他社のカタログとデザインやデータを見くらべてもみたんですが、素人じゃはつきりしたことはつかめない。まあ表面的な判定で四谷サイクルさんにオーダーしたのがプジョーN S-40です。たしかあれ

は一年半前のことでした。ええ、いまも最高に気に入っています。その理由は、いうにおよばず軽さ、乗りやすさ、丈夫さですね。スタイルもあきがない。まあ素人的な意見をつけ加えるならばメッキ部の配分のよさ、塗装の色合いもフランス的デザインのスタイリングに役かっているんでしょうね。

とにかく、自転車はもともと身近な乗物ですし、近距離では経済性いちばん。しかもペダリングは健康によい。とくにわれわれの年代には……ね」

ここまでいって年令をあかさない日野社長は確かに健康そのものご様子でした。

テレビに、雑誌に
新しい広告が
お店にお客さまをおくれます。



新しい話題のテレビCM

〈天気の良い日はバイクに乗ろう〉の軽快なリズムによって、楽しいバイクの世界をPRしているおなじみのテレビCMが、すでにお気づきのように6月から新しいフィルムとなり、ヤマハモトバイク新発売の告知をかねたモトバイク編と、50ccバイク（スポーツ）編の二本となり、交互に放映されています。

また同時に従来のTBS（東京放送）系全国24局ネットによるJNニュースのCMタイムのほか、新たにフジテレビ系全国ネットを加え、木曜日「猿の惑星(24局ネット)」、土曜日「赤ちゃんがいっぱい(22局ネット)」、日曜日「オールスター家族対抗歌合戦(18局ネット)」のCMタイムにも放映しており、より充実したPR展開でみなさまのご商売をバックアップしております。

折からモトバイクを含め、いまは二輪車の最需要期を迎えています。お店における話題づくりと共にどうぞこの好機を有効にお役立ててください。

●フジテレビ系全国24局名

フジテレビ（CX）、関西テレビ（KTV）、東海テレビ（THK）、テレビ西日本（TNC）、北海道文化放送（UHB）、秋田テレビ（AKT）、山形テレビ（YTS）、仙台放送（OX）、新潟総合テレビ（NST）、長野放送（NBS）、テレビ静岡（SU T）、富山テレビ（T35）、石川テレビ放送（ITC）、福井テレビ（FTB）、山陰中央テレビ、岡山放送（OHK）、広島テレビ（HTV）、愛媛放送（EBC）、テレビ長崎（KTN）、テレビ熊本（TKU）、サガテレビ（STS）、テレビ大分（TOS）、テレビ宮崎（UMK）、鹿児島テレビ（KTS）、沖縄テレビ（OTV）

モトバイクが当るクイズ広告

テレビCMとは別に、新発売ヤマハモトバイクの認知の徹底と、小・中学生を対象とした話題づくりの焦点を合わせ、小・中学生から大人まで広範囲の読者層をもつ週刊マンガ雑誌の「少年マガジン」、「少年ジャンプ」、「少年サンデー」の三誌に、クイズ広告を掲載します。それぞれカラーグラビア1ページもので、「少年マガジン」は6月25日、7月16日、8月第1週の発売号、「少年ジャンプ」は6月24日、7月8日、8月第1週の発売号、「少年サンデー」は6月25日、7月9日、8月第1週の発売号に掲載します。

クイズの問題は――

凸凹道もなんのその。もの言う前後ク

ッション。ヤ○ハモ○○○ク

――の○文字の個所をカタカナでうめてもらうもので、官製ハガキに答、住所、氏名、年令を明記して、〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社モトバイククイズ係宛送附していただければ、正解者の中から抽せんで、特賞ヤマハモトバイク5名、A賞ヤマハモトバイクTシャツ500名、B賞ヤマハモトバイクステッカー5,000名がおくれるものです。このクイズ広告については、上記の三誌に限られていますので、お店でも、お客さまとの話題づくりにご利用ください。



YAMAHA MOTO-BIKE

ヤマハ・モトバイク

前後のクッションがものを言う。

ヤマハ・モトバイク、新発売



がんばる僕は大きく見える。

6月25日発売号の「少年マガジン」「少年ジャンプ」「少年サンデー」の週刊誌にすばらしい賞品が当たるヤマハモトバイクの広告が掲載されます。お客さまにお知らせください。